

# 2023年3月期 第3四半期 決算説明会資料

株式会社サニックス  
2023年2月15日

# 目次

- |                                     |      |
|-------------------------------------|------|
| 1. 2023年3月期 第3四半期 決算概況              | P.4  |
| 2. 2023年3月期 通期業績見通し                 | P.27 |
| 3. 補足資料（2023年3月期<br>第3四半期 セグメント別実績） | P.40 |
| 4. 補足資料（事業構造）                       | P.52 |

## 【免責事項】

- ・ 本資料には、将来の業績予測に関する記述が含まれています。こうした将来の業績予測に関する記述は、将来業績を保証することを意図するものではなく、一定の前提条件と経営陣の現時点で入手可能な情報による判断に基づくものです。従いまして、以下の要因をはじめとする様々な要因により、将来時点における実際の収益及び業績は、業績予測に関する記述と大きく異なる可能性があります。
- ・ 新型コロナウイルス感染状況及び政府・自治体の対応、日本の景気動向、「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」の動向、廃棄物（特に廃プラスチック類）の取扱いに関わる動向、他の業者との競争環境、技術革新、規制環境、法律環境及びその他の当社の予測を超える様々な要因。
- ・ 本資料は当社が発行する証券への投資を勧誘することを企図した資料ではありません。本資料に含まれる情報に基づいて発生した損失・債務に関して、当社は一切の責任を負わない旨をご了承下さい。

### <注意事項>

- ・ 数値については、単位未満を切り捨てて表示しております。
- ・ 営業利益、経常利益、当期純利益の“△”表記は、それぞれ営業損失、経常損失、当期純損失を表します。
- ・ 比率がマイナスあるいは1000%を超える値の場合「－」で表示しております。

2023年3月期は、事業部門の組織改編により、セグメント区分を変更しております。変更により、前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。なお、戸建住宅向け太陽光発電システム事業の「(新)SE部門」は、実務上前年同期の数値を組み替えることが困難なため前期比較を記載しておりません。そのため、PV部門は、前年同期の「(旧)SE部門」の数値と比較しております。

# 2023年3月期 第3四半期 決算概況

## ■ 2022年6月1日付の組織改編に基づき、セグメント区分を変更

### 変更前

S E 事業部門
H S 事業部門
E S 事業部門
環境資源開発事業部門
エネルギー事業部門



### 変更後

住環境領域	H S 事業部門・・・戸建住宅向けサービス事業
	E S 事業部門・・・法人・事業主向けサービス事業
	S E 事業部門・・・戸建住宅向け太陽光発電システム事業
エネルギー領域	P V 事業部門・・・法人向け太陽光発電システム事業
	新電力事業部門・・・電力小売事業
資源循環領域	環境資源開発事業部門・・・廃棄物リサイクル事業

- 売上高 34,345百万円 (対前年同期▲2,107百万円 対計画▲305百万円)
- 営業利益 1,111百万円 (対前年同期 +930百万円 対計画 +36百万円)

## 2023年3月期 第3四半期連結業績のポイント

	対前年同期	対計画
住環境領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により対面での営業活動に制約が発生</li> <li>・ SE部門の新規立ち上げによる増収</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ HS部門において、中長期を見据えた新規営業活動重視の方針を強化したことで一時的な生産性の低下</li> </ul>
エネルギー領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PV部門において、組織改編にともなう固定費の減少により増益</li> <li>・ 新電力部門において、事業構造の見直しにより調達リスクが低減されるとともに、採算性の向上(黒字化)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PV部門において、手続き等に時間を要していた自家消費型太陽光や非FIT発電所の工事着手による実績計上の開始</li> <li>・ 新電力部門において、電力調達コストが想定を下回ったため増益</li> </ul>
資源循環領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発電所の点検にかかる修繕費の減少</li> <li>・ 設備投資等にかかる償却費負担の増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「埋立処理」における受入量の増加</li> </ul>

※2023年3月期は、事業部門の組織改編により、セグメント区分を変更しております。変更により、前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。なお、戸建住宅向け太陽光発電システム事業の「(新)SE部門」は、実務上前年同期の数値を組み替えることが困難なため前期比較を記載しておりません。そのため、PV部門は、前年同期の「(旧)SE部門」の数値と比較しております。

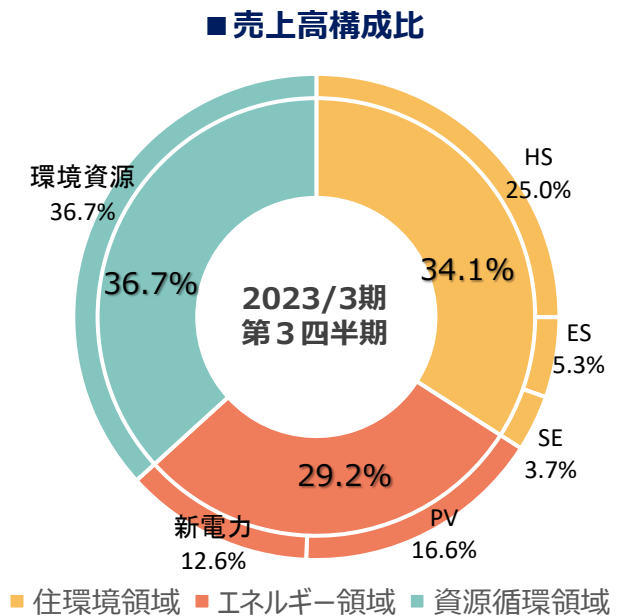
# 2023年3月期 第3四半期 連結決算概況

(単位：百万円)

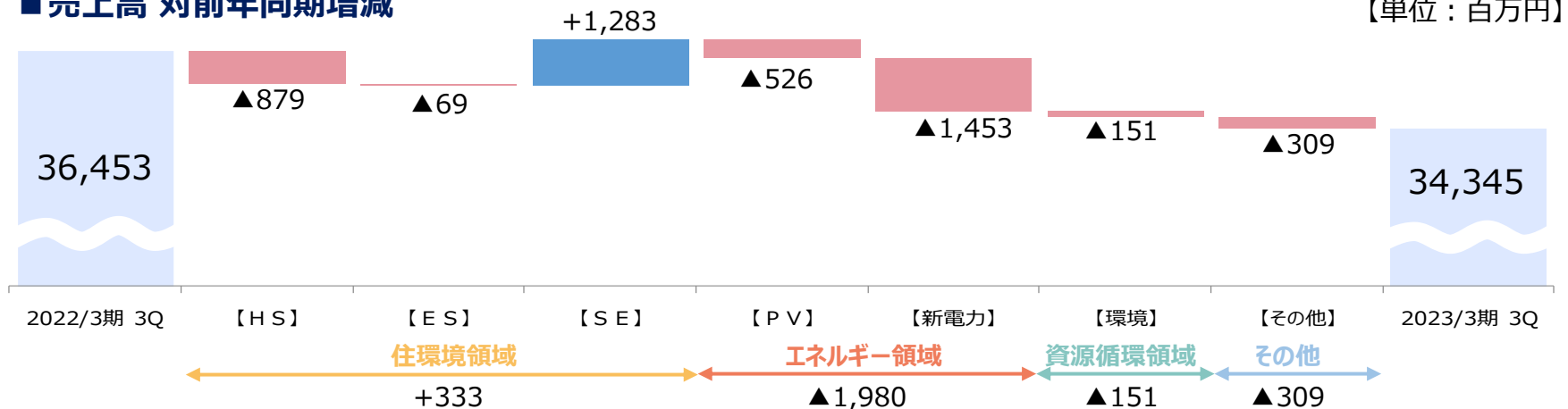
	2022/3期	2023/3期	2023/3期	前年同期		計画	
	3Q実績	3Q実績	3Q計画	差異	前年同期比	差異	計画比
売上高	36,453	<b>34,345</b>	34,651	△ 2,107	94.2%	△ 305	99.1%
売上原価	25,181	<b>22,408</b>	22,673	△ 2,773	89.0%	△ 265	98.8%
売上総利益 (売上高売上総利益率)	11,271 30.9%	<b>11,937</b> <b>34.8%</b>	11,977 34.6%	+ 666	105.9%	△ 39	99.7%
販売費・一般管理費	11,090	<b>10,825</b>	10,902	△ 264	97.6%	△ 76	99.3%
営業利益 (売上高営業利益率)	181 0.5%	<b>1,111</b> <b>3.2%</b>	1,075 3.1%	+ 930	614.0%	+ 36	103.4%
経常利益 (売上高経常利益率)	0 0.0%	<b>935</b> <b>2.7%</b>	865 2.5%	+ 935	—	+ 70	108.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (売上高四半期純利益率)	△ 306 —	<b>649</b> <b>1.9%</b>	583 1.7%	+ 955	—	+ 66	111.4%

(単位：百万円)

	2023/3期	前年同期		計画	
	3Q実績	差異	前年同期比	差異	計画比
住環境領域	11,707	+ 333	102.9%	△ 328	97.3%
エネルギー領域	10,019	△ 1,980	83.5%	△ 54	99.5%
資源循環領域	12,619	△ 151	98.8%	+ 77	100.6%
その他/セグメント間の 内部売上高調整額	—	△ 309	—	—	—
合計	34,345	△ 2,107	94.2%	△ 305	99.1%



### ■ 売上高 対前年同期増減



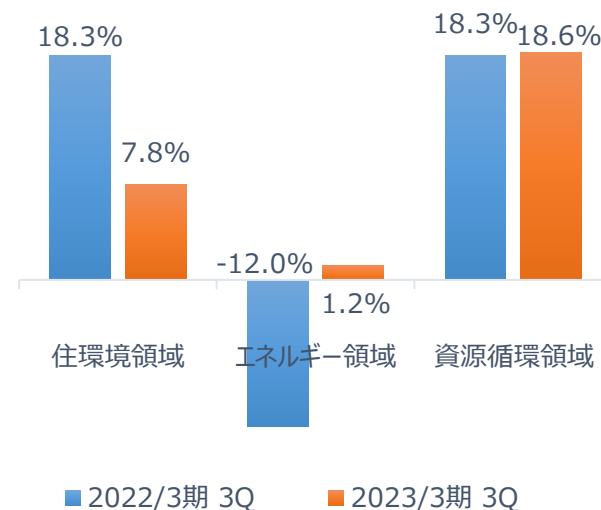


# 2023年3月期 第3四半期 事業領域別 営業利益

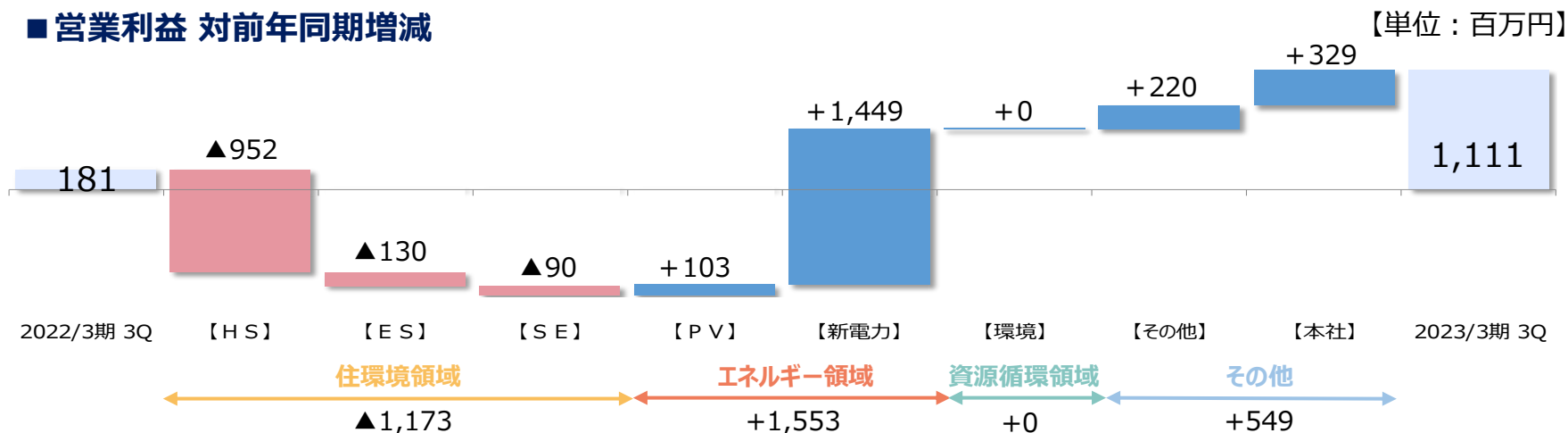
(単位：百万円)

	2023/3期	前年同期		計画	
	3Q実績	差異	前年同期比	差異	計画比
住環境領域	913	△ 1,173	43.8%	△ 193	82.5%
エネルギー領域	116	+ 1,553	—	+ 78	312.3%
資源循環領域	2,343	+ 0	100.0%	+ 109	104.9%
その他	—	+ 220	—	—	—
配賦不能	△ 2,260	+ 329	—	+ 41	—
合計	1,111	+ 930	614.0%	+ 36	103.4%

## ■ 営業利益率



## ■ 営業利益 対前年同期増減



## ■ 住環境領域

戸建住宅、集合住宅、その他建築物に対する適切なメンテナンスを実施することで、安心・安全・快適な暮らしを提供。また、建物の長寿命化により資源の効率的利用に貢献。

### HS部門：ホーム・サニテーション事業

戸建住宅向けの環境衛生にかかるトータルメンテナンスサービス事業を展開

- 白蟻防除システム
- 床下・天井裏換気システム
- 基礎補修工事
- 家屋補強システム
- 住まいのリフォーム など

### ES部門： エスタブリッシュメント・サニテーション事業

法人（ビル・マンション等）向けの環境衛生にかかるトータルメンテナンスサービス事業を展開

- ビル・マンションの給排水設備の保全対策
- ビル・マンションの外壁塗装・屋上防水
- 有害生物の防除（ペストコントロール）など

### SE部門：ソーラーエンジニアリング事業

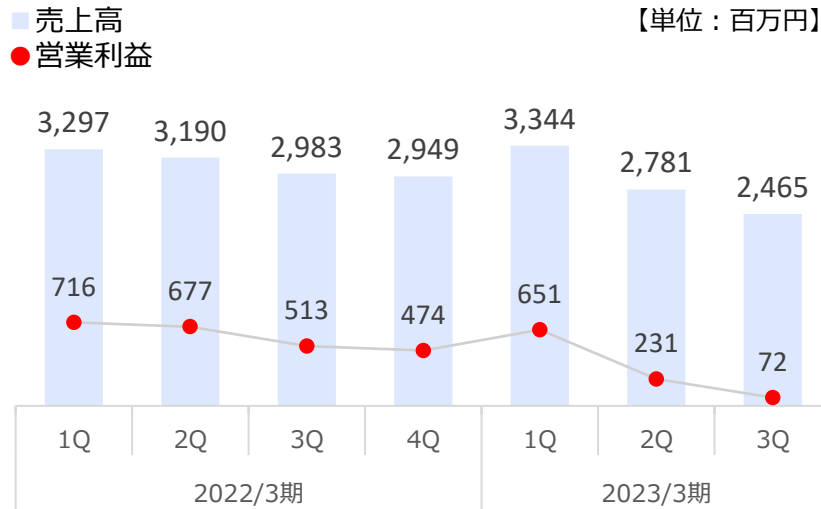
戸建住宅向け太陽光発電システムの製造から販売・施工・メンテナンスまでトータルサービス事業を展開

- 戸建住宅向け太陽光発電システム
- 蓄電池、V2H
- O&M（メンテナンス）など

（単位：百万円）

	2023/3期 3Q実績	前年同期		計画	
		差異	前年同期比	差異	計画比
売上高	11,707	+ 333	102.9%	△ 328	97.3%
H S 部門	8,591	△ 879	90.7%	△ 335	96.2%
E S 部門	1,832	△ 69	96.3%	+ 36	102.0%
S E 部門	1,283	+ 1,283	—	△ 29	97.8%
売上総利益	6,541	△ 398	94.3%	△ 232	96.6%
営業利益	913	△ 1,173	43.8%	△ 193	82.5%

# 2023年3月期 第3四半期 セグメント別実績【HS事業部門】



主な増減要因（前年同期比較）	
■ 売上高 ▲879百万円	
【+】	・人員増加及び提携先開拓強化による営業基盤の拡大 ・新規営業活動強化による受注(白蟻防除施工)の増加
【-】	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により対面での営業活動に制約が発生
■ 営業利益 ▲952百万円	
【-】	・積極的な人員増加による人件費の増加

## ■ 商品別売上高・営業利益

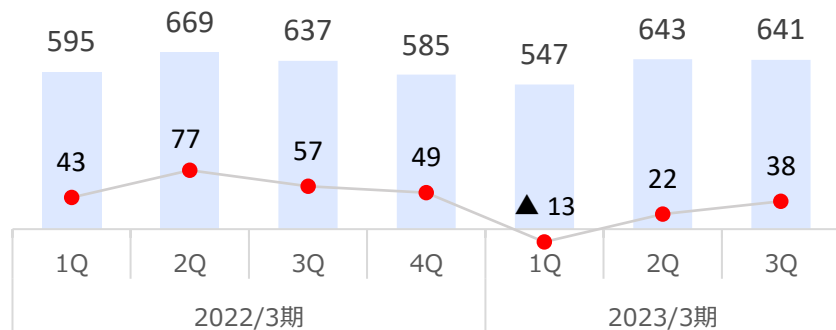
(単位：百万円)

	2023/3期	前年同期		計画	
	3Q実績	差異	前年同期比	差異	計画比
<b>売上高</b>	<b>8,591</b>	△ 879	90.7%	△ 335	96.2%
白蟻防除施工	2,991	+ 187	106.7%	+ 80	102.8%
床下・天井裏換気システム	2,136	△ 285	88.2%	△ 97	95.6%
基礎補修・家屋補強工事	1,211	△ 337	78.2%	△ 131	90.2%
その他	2,251	△ 443	83.5%	△ 186	92.4%
<b>売上総利益</b>	<b>5,151</b>	△ 777	86.9%	△ 273	94.9%
<b>営業利益</b>	<b>956</b>	△ 952	50.1%	△ 220	81.2%

# 2023年3月期 第3四半期 セグメント別実績【ES事業部門】

■ 売上高  
● 営業利益

【単位：百万円】



## 主な増減要因（前年同期比較）

■ 売上高 ▲69百万円

【+】・継続的な人員増加による営業基盤の拡大

【-】・新型コロナウイルス感染症拡大による業務提携先からの受注の減少(足元は、回復基調)

■ 営業利益 ▲130百万円

【-】・外注工事をともなう売上の増加によるコストの増加  
・積極的な人員増加による人件費の増加

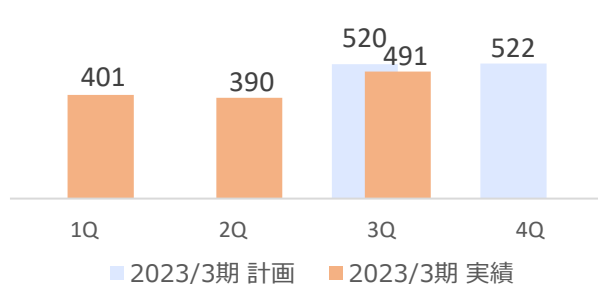
## ■ 商品別売上高・営業利益

(単位：百万円)

	2023/3期	前年同期		計画	
	3Q実績	差異	前年同期比	差異	計画比
<b>売上高</b>	<b>1,832</b>	△ 69	96.3%	+ 36	102.0%
防錆機器取付施工	790	△ 151	83.9%	+ 52	107.1%
その他	1,041	+ 81	108.5%	△ 15	98.5%
<b>売上総利益</b>	<b>954</b>	△ 56	94.4%	+ 26	102.9%
<b>営業利益</b>	<b>47</b>	△ 130	26.8%	+ 12	134.5%

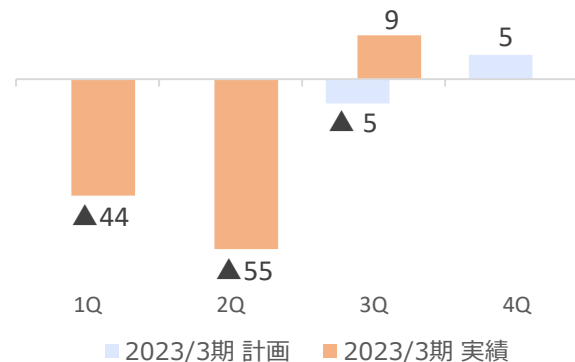
【単位：百万円】

売上高



【単位：百万円】

営業利益



## ■ 商品別売上高・営業利益

(単位：百万円)

	2023/3期	前年同期		計画	
	3Q実績	差異	前年同期比	差異	計画比
売上高	1,283	—	—	△ 29	97.8%
売上総利益	435	—	—	+ 14	103.5%
営業利益	△ 90	—	—	+ 14	—

※2023年3月期は、事業部門の組織改編により、セグメント区分を変更しております。

SE部門については、実務上、前年同期の数値を組み替えることが困難なため前期比較を記載しておりません。

## ■ エネルギー領域

太陽光発電システムの施工販売や電力取引事業を通じて、資源・エネルギーの効率的利用に貢献。

### PV部門

法人向け太陽光発電システムの製造から販売・施工・メンテナンスまでトータルサービス事業を展開

- 法人向け太陽光発電システム  
(自家消費型、PPA、FIT太陽光など)
- 蓄電池
- O&M (メンテナンス) など

### 新電力部門

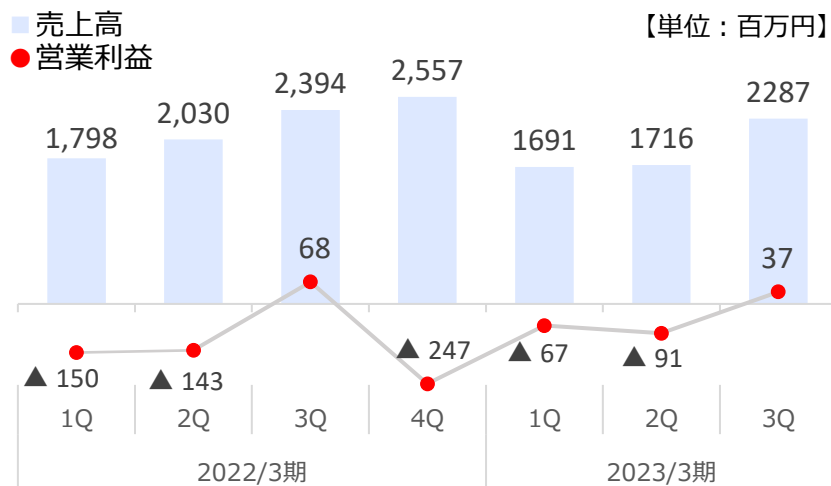
事業所向けから家庭向けまで、9電力会社管内において、電力小売事業を展開

※新規供給契約の受付を停止しております

(単位：百万円)

	2023/3期	前年同期		計画	
	3Q実績	差異	前年同期比	差異	計画比
売上高	10,019	△ 1,980	83.5%	△ 54	99.5%
P V 部門	5,696	△ 526	91.5%	△ 47	99.2%
新電力部門	4,322	△ 1,453	74.8%	△ 7	99.8%
売上総利益	1,663	+ 1,045	269.3%	+ 85	105.4%
営業利益	116	+ 1,553	—	+ 78	312.3%

# 2023年3月期 第3四半期 セグメント別実績【PV事業部門】



## 主な増減要因（前年同期比較）

### ■ 売上高 ▲526百万円

- 【+】・法人との業務提携による非FIT発電所施工の開始  
・既設太陽光発電所のメンテナンス売上の増加
- 【-】・組織改編にともない、余剰太陽光をSE部門に移行

### ■ 営業利益 +103百万円

- 【+】・組織改編にともなう固定費の減少
- 【-】・為替影響等により材料コストの増加

## ■ 商品別売上高・営業利益

（単位：百万円）

	2023/3期	前年同期		計画	
	3Q実績	差異	前年同期比	差異	計画比
<b>売上高</b>	<b>5,696</b>	△ 526	91.5%	△ 47	99.2%
施工売上	5,538	△ 521	91.4%	△ 39	99.3%
卸売上	88	△ 20	81.4%	△ 9	90.7%
その他	69	+ 14	126.7%	+ 1	102.5%
<b>売上総利益</b>	<b>1,284</b>	△ 308	80.6%	+ 20	101.6%
<b>営業利益</b>	<b>△ 121</b>	+ 103	-	+ 5	-

※2023年3月期は、事業部門の組織改編により、セグメント区分を変更しております。  
PV部門については、前年同期の「(旧)SE部門」の数値と比較しております。

# 地域における脱炭素化への取り組み

## ■「福岡市市有施設への太陽光発電設備導入事業」の実施事業者に選定

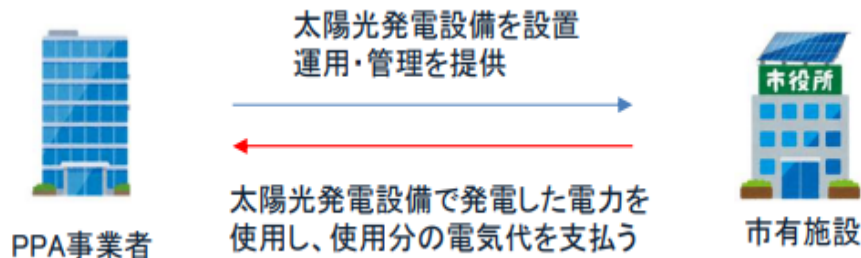
当社は、福岡市の2040年度温室効果ガス排出量実質ゼロに向けた取り組みの第1弾として、「市有施設への太陽光発電設備導入事業（PPA※事業）の実施事業者」に選定されました。

### ■ 太陽光発電設備導入候補施設 合計 8施設

・消防施設：4カ所 / 下水道施設：2カ所 / 水道施設：2カ所

想定導入量：約830kW（年間発電電力量 市内約360世帯の電力消費量に相当）

CO<sub>2</sub>削減量：約456 t -CO<sub>2</sub>/年（森林面積 約89haのCO<sub>2</sub>吸収量に相当）



### ■ 事業スキーム

- ・PPA事業者（当社）は、施設の屋上等を借り受け、太陽光発電設備を設置・運用・管理を行う
- ・福岡市は、各施設の屋上等の設備場所を提供し、発電された電力を各施設で使用。使用した電力量に応じた電気料金をPPA事業者に支払う
- ・PPA事業者は、設備費用及び運用・管理費用を福岡市からの電気料金でまかなう

※PPA(Power Purchase Agreement(電気販売契約)の略)  
PPA事業者が、需要家の敷地内で太陽光発電設備を設置・運用・メンテナンスし、発電された電気を需要家に供給販売する仕組み。

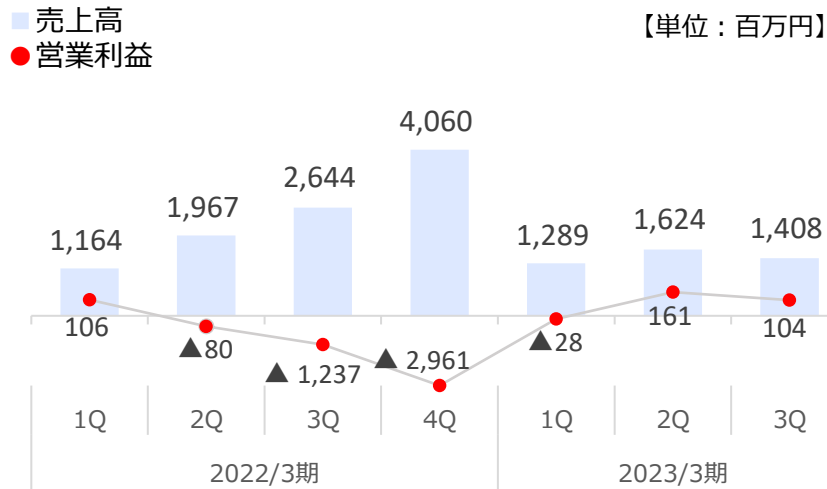
2023年2月13日 プレスリリース

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000084.000025581.html>

地域（各自治体）における脱炭素化の取り組みも徐々に本格化してきており、今後の需要拡大が見込まれる。これまでの太陽光発電事業や新電力事業における実績・ノウハウをベースに、各自治体における取り組みをサポートし、脱炭素社会の実現に貢献。



# 2023年3月期 第3四半期 セグメント別実績【新電力事業部門】



## 主な増減要因（前年同期比較）

■ 売上高 ▲1,453百万円

【+】・エネルギー価格高騰にともなう販売単価の上昇

【-】・事業構造の転換にともなう販売量の減少

■ 営業利益 +1,449百万円

【+】・市場調達比率の引き下げによる電力調達にかかる価格変動リスクの低減・採算性向上

・人員配置転換等による固定費の減少

【-】・燃料費調整額の上昇にともなう電力調達単価の上昇

※燃料費調整額とは、火力燃料（原油・LNG〔液化天然ガス〕・石炭）の価格変動を電気料金に迅速に反映させるため、その変動に応じて、自動的に電気料金を調整するもの

（単位：百万円）

## ■ 商品別売上高・営業利益

	2023/3期	前年同期		計画	
	3Q実績	差異	前年同期比	差異	計画比
売上高	4,322	△ 1,453	74.8%	△ 7	99.8%
売上総利益	378	+ 1,354	-	+ 65	120.9%
営業利益	238	+ 1,449	-	+ 73	144.7%

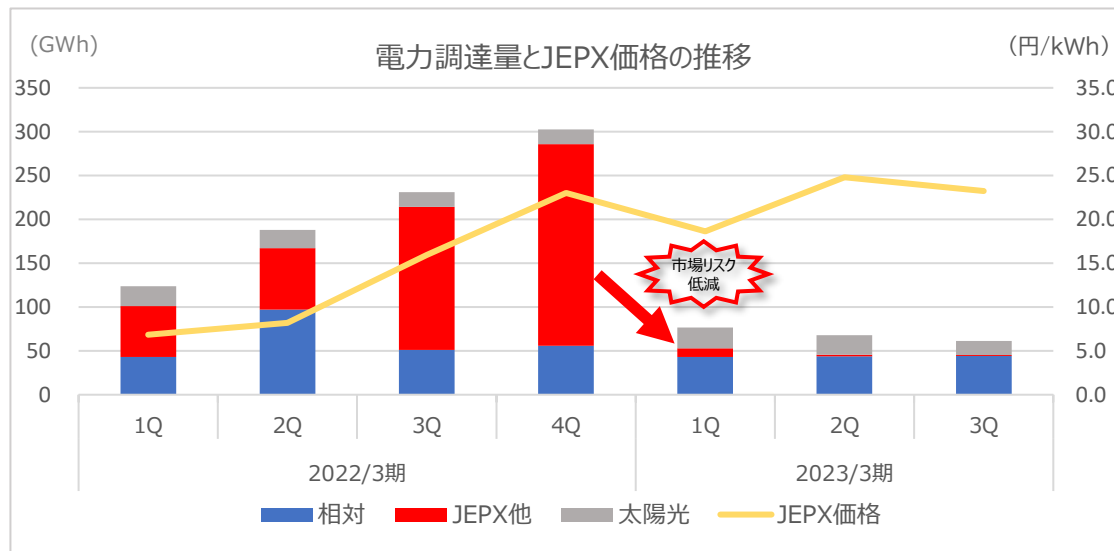
（ご参考）

セグメント間の内部売上高調整額	-	+ 34	-	-	-
-----------------	---	------	---	---	---

## 2022年度方針

- 市場リスクを最小限に抑える事業構造ヘシフト
- 売上拡大による成長志向ではなく、機能面の強化による他事業との相乗効果の創出を目指す

2021年10月から引き続き市場価格が高騰しているものの、ポートフォリオの見直しにより市場調達比率及び電力調達にかかる価格変動リスクを低減できていることから、**市場価格に左右されにくい事業構造へ転換（黒字化）**できている。



### ■当社取組み

- ① 相対調達の規模に合わせて供給量を調整し、市場調達を最小限に抑える
- ② 新規需給契約受付の停止
- ③ 小売契約の一部を取次契約へ移行
- ④ 相対卸供給先の契約満了に伴う供給終了

※取次契約  
取次事業者が小売電気事業者と取次契約を締結し、小売電気事業者が調達した電気を需要家へ販売する形態のもの。電力供給の責任は、小売電気事業者が有する。

当社の電力調達に関わる重要な市場データとして、JEPX（スポット市場）価格の期中平均価格単価推移（システムプライス（30分単位の1日48コマ）の期中単純平均）を記載しております。

## ■ 資源循環領域

産業廃棄物の適正処理、再資源化ならびに、廃液処理による水資源の浄化により、資源の効率的利用、清浄な水資源の確保、安心・安全な暮らしに貢献。

### 環境資源開発部門

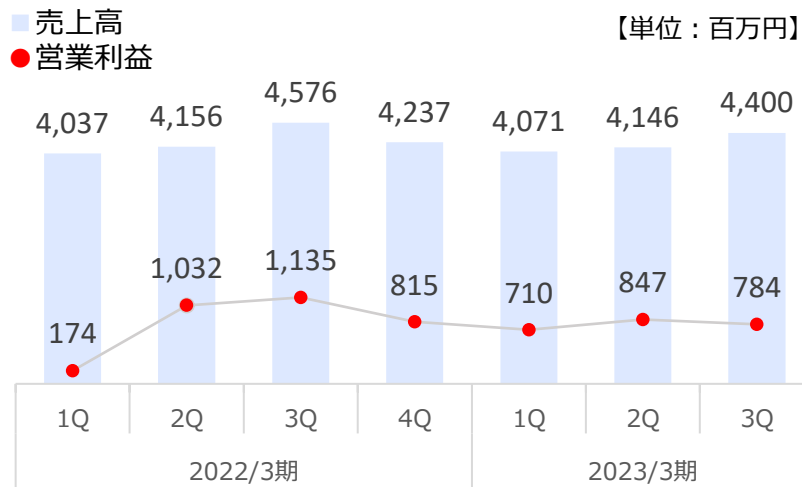
産業廃棄物系プラスチックの燃料化・リサイクル・発電までを行う資源循環型発電事業、廃液を浄化・リサイクル・燃料化を行う資源循環事業などを展開

- 廃プラスチックの燃料化・リサイクル
- 資源循環型発電システム（廃プラスチック再生燃料による発電）
- 廃液の浄化・リサイクル・燃料化
- 埋立処理 など

(単位：百万円)

	2023/3期	前年同期		計画	
	3Q実績	差異	前年同期比	差異	計画比
売上高	12,619	△ 151	98.8%	+ 77	100.6%
売上総利益	3,733	+ 56	101.5%	+ 107	103.0%
営業利益	2,343	+ 0	100.0%	+ 109	104.9%

# 2023年3月期 第3四半期 セグメント別実績【環境資源開発事業部門】



主な増減要因（前年同期比較）	
■ 売上高	▲151百万円
【+】	・売電単価の上昇 ・「埋立処理」における受入量の増加
【-】	・プラスチック燃料における高単価廃棄物受入量の減少
■ 営業利益	+0百万円
【+】	・発電所の点検にかかる修繕費の減少
【-】	・プラスチック燃料における高単価廃棄物受入量の減少 ・設備投資等にかかる償却費負担の増加

## ■ 商品別売上高・営業利益

（単位：百万円）

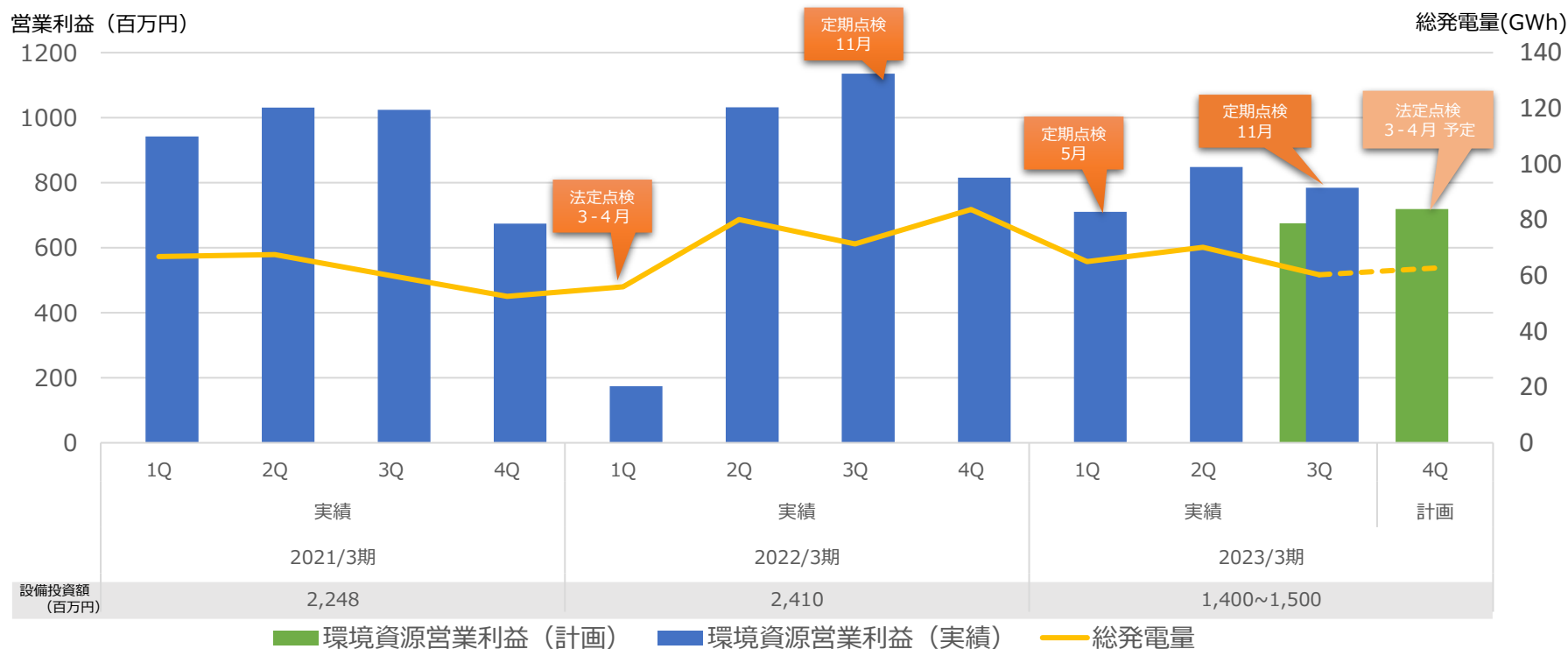
	2023/3期	前年同期		計画	
	3Q実績	差異	前年同期比	差異	計画比
<b>売上高</b>	<b>12,619</b>	△ 151	98.8%	+ 77	100.6%
プラスチック燃料	7,547	△ 524	93.5%	△ 86	98.9%
発電所売上	2,344	+ 221	110.4%	+ 26	101.2%
廃液処理	1,564	+ 35	102.3%	△ 7	99.5%
埋立処理	799	+ 117	117.2%	+ 127	118.9%
その他	362	△ 1	99.7%	+ 17	104.9%
<b>売上総利益</b>	<b>3,733</b>	+ 56	101.5%	+ 107	103.0%
<b>営業利益</b>	<b>2,343</b>	+ 0	100.0%	+ 109	104.9%

## ■ 営業利益について

- 2023年3月期第3四半期は、比較的単価の高い廃棄物の受入減少や設備投資等による償却費負担が増加しているものの、発電所にかかる修繕費等の減少により、営業利益は前年同期並みに推移している。

## ■ 苫小牧発電所の点検予定時期

- 2023年3月期 法定点検：2023年3月中旬から4月 予定  
※法定点検 2年に1度実施（タービン：4年ごと、ボイラー：2年ごと）

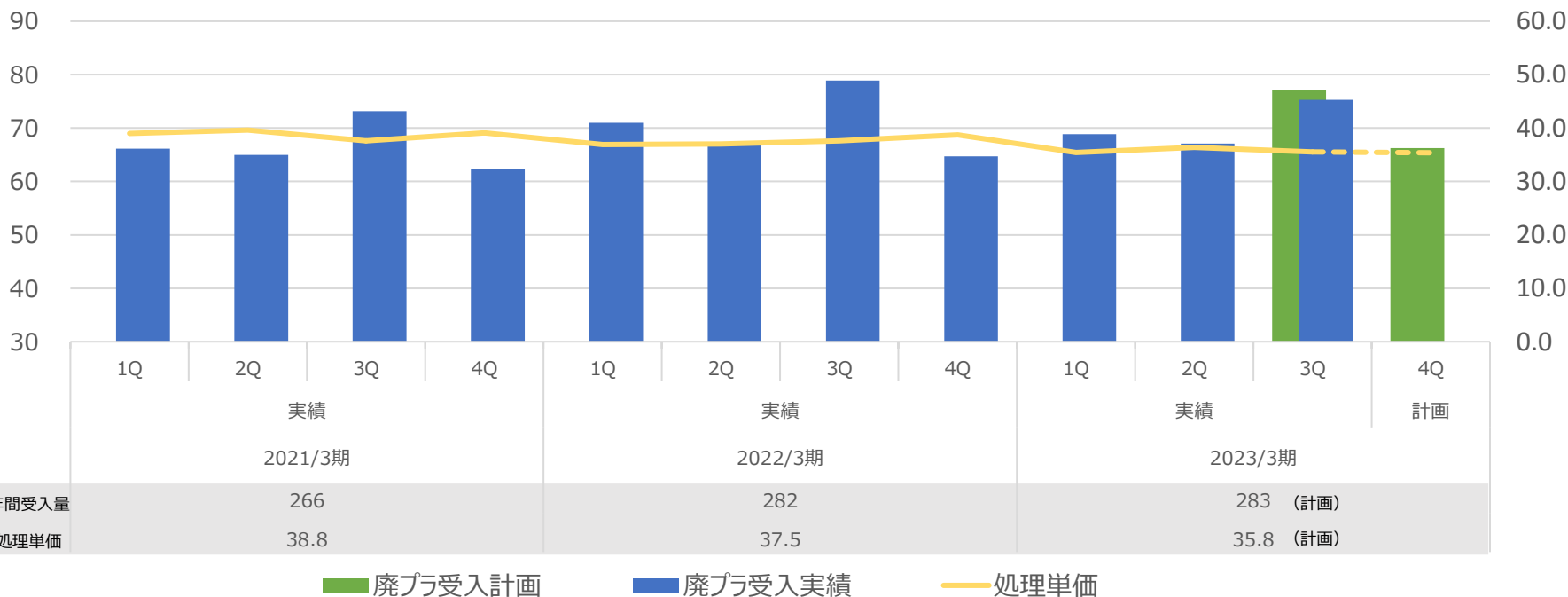


## ■ 廃プラスチックの受入について

- 2023年3月期第3四半期における処理単価は、当社の一部工場において比較的単価の高い廃棄物の受入が減少したことからわずかに低下している。
- 一方、受入量については、上記廃棄物の受入量が減少したものの、営業活動の強化等によりカバーしている。
- 引き続き、営業活動の強化及び廃棄物業務一元管理システム（サニックスシステム）の導入による顧客への廃棄物管理支援を実施し、取引先との関係強化及び受入量拡大を図っていく。

受入量(1,000t)

処理単価 (千円/t)



※処理単価 = プラスチック燃料売上高 ÷ 廃プラ受入量

# 廃プラスチック受入先拡張に向けた取り組み

## ■ 自衛隊の産業廃棄物収集運搬処理を落札

当社は、自衛隊の産業廃棄物収集運搬処理（スポット）についての一般競争入札を落札いたしました。これまで、廃プラスチックの受入先（排出元）は、一般の企業が中心でしたが、今後は、官公庁や自治体等へもアプローチを広げ、当事業の拡大を目指してまいります。

	落札者	発注者	落札内容
1	株式会社サニックス 福島工場（福島県本宮市）	陸上自衛隊 福島駐屯地	廃プラスチック、廃1tフレコンバッグ、自衛隊車両幌 等の収集運搬、処理
2	株式会社サニックス 富士工場（静岡県富士市）	航空自衛隊 浜松基地	廃プラスチックの収集運搬、処理

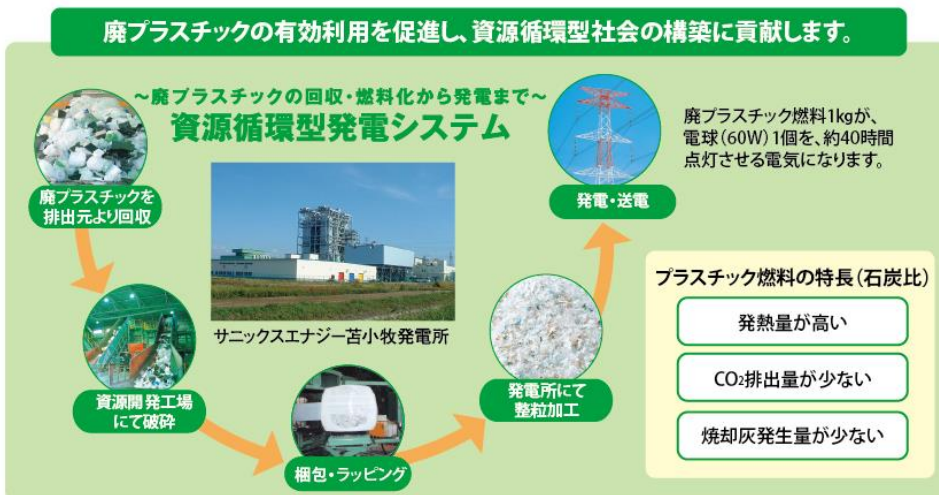
### ■ 環境資源開発事業関連工場

- プラスチック資源開発工場
- 発電所
- 有機廃液処理工場
- 最終処分場



2023年2月1日 プレスリリース

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000081.000025581.html>





(単位：百万円)

	2022/3期	2023/3期	前期	
	期末	12月末	差異	前期末比
流動資産	14,551	<b>15,354</b>	+ 802	105.5%
固定資産	20,401	<b>19,698</b>	△ 703	96.6%
資産合計	34,953	<b>35,053</b>	+ 99	100.3%
流動負債	21,718	<b>17,877</b>	△ 3,840	82.3%
固定負債	8,503	<b>11,795</b>	+ 3,292	138.7%
負債合計	30,221	<b>29,673</b>	△ 548	98.2%
純資産合計	4,732	<b>5,379</b>	+ 647	113.7%
負債純資産合計	34,953	<b>35,053</b>	+ 99	100.3%

## <資産>

主な要因は、受取手形及び売掛金が2,248百万円減少となったものの、現金及び預金が2,457百万円増加

## <負債>

主な要因は、未払金が503百万円増加し、短期借入金を長期借入金に借り換えたことにより長期借入金が3,515百万円、一年内返済予定の長期借入金が994百万円増加となり、短期借入金が5,768百万円減少

流動比率については、前期末67.0%に対して、2023年3月期第3四半期においては、85.9%と18.9ポイント改善

自己資本比率については、前期末13.5%に対して、2023年3月期第3四半期においては、15.3%と1.8ポイント改善



## ■ 設備投資・減価償却費

(単位：百万円)

	2022/3期	2023/3期
	3Q実績	3Q実績
設備投資	2,521	1,053
減価償却費	1,002	1,318

## ■ セグメント別 設備投資実績

(単位：百万円)

	2022/3期	2023/3期
	3Q実績	3Q実績
H S 部門	43	47
E S 部門	3	0
S E 部門	—	2
P V 部門	18	58
新電力部門	7	1
環境資源開発部門	2,212	887
その他	17	—
本社	218	56
合計	2,521	1,053

### 主な設備投資

- ・廃プラ加工設備に係る投資 : 602百万円
- ・廃液処理設備に係る投資 : 271百万円

## ■事業部門別人員（連結）

人員数（連結）	2022/3期 期末	2023/3期 12月末	前期末 増減
H S 部門	794	<b>856</b>	+ 62
E S 部門	146	<b>162</b>	+ 16
S E 部門	—	<b>92</b>	+ 92
P V 部門	334	<b>250</b>	△ 84
新電力部門	28	<b>18</b>	△ 10
環境資源開発部門	432	<b>447</b>	+ 15
その他	42	—	△ 42
本社	278	<b>260</b>	△ 18
合計	2,054	<b>2,085</b>	+ 31

## ■拠点数（子会社含む）

拠点数	2022/3期 期末	2023/3期 12月末	前期末 増減
H S 部門	53	63	+ 10
E S 部門	12	12	—
S E 部門	—	14	+ 14
P V 部門	37	35	△ 2
新電力部門	1	1	—
環境資源開発部門	18	18	—
その他	4	—	△ 4

※上記拠点数には、同一拠点を含みます

※環境資源開発部門は、発電所 1 拠点、最終処分場 1 拠点含む

■ 2023年 3 月期 計画(HS/ES)  
 ・10～12店舗 出店予定

※2023年 3 月期は、事業部門の組織改編により、セグメント区分を変更しております。

2022年 3 月期については、前期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値を記載しております。

# 2023年3月期 通期業績見通し

通期連結業績見通しにつきましては、2022年11月14日に発表した計画から変更ありません。

(単位：百万円)

	2022/3期	2023/3期		
	実績	計画	前期比	前期差異
売上高	50,936	<b>46,568</b>	91.4%	△ 4,368
売上原価	38,842	<b>30,533</b>	78.6%	△ 8,309
売上総利益 (売上高売上総利益率)	12,093 23.7%	<b>16,035</b> <b>34.4%</b>	132.6%	+ 3,941
販売費・一般管理費	14,711	<b>14,507</b>	98.6%	△ 204
営業利益 (売上高営業利益率)	△ 2,618 -	<b>1,528</b> <b>3.3%</b>	-	+ 4,146
経常利益 (売上高経常利益率)	△ 2,900 -	<b>1,271</b> <b>2.7%</b>	-	+ 4,172
親会社株主に帰属する 当期純利益 (売上高当期純利益率)	△ 3,449 -	<b>1,065</b> <b>2.3%</b>	-	+ 4,515

# 2023年3月期 セグメント別 通期連結業績見通し

(単位：百万円)

	2022/3期 通期		2023/3期 通期			
	実績	売上比	計画	売上比	前期比	前期差異
<b>売上高</b>	50,936		<b>46,568</b>		91.4%	△ 4,368
H S 部門	12,421	24.4%	<b>12,015</b>	25.8%	96.7%	△ 405
E S 部門	2,487	4.9%	<b>2,450</b>	5.3%	98.5%	△ 36
S E 部門	—	—	<b>1,834</b>	3.9%	—	+ 1,834
P V 部門	8,780	17.2%	<b>8,042</b>	17.3%	91.6%	△ 738
新電力部門	9,836	19.3%	<b>5,836</b>	12.5%	59.3%	△ 4,000
環境資源開発部門	17,008	33.4%	<b>16,389</b>	35.2%	96.4%	△ 618
その他/セグメント間の 内部売上高調整額	403	0.8%	—	—	—	△ 403
<b>営業利益</b>	△ 2,618	—	<b>1,528</b>	3.3%	—	+ 4,146
H S 部門	2,382	19.2%	<b>1,612</b>	13.4%	67.7%	△ 770
E S 部門	227	9.1%	<b>86</b>	3.5%	38.2%	△ 140
S E 部門	—	—	<b>△ 100</b>	—	—	△ 100
P V 部門	△ 473	—	<b>△ 124</b>	—	—	+ 349
新電力部門	△ 4,173	—	<b>143</b>	2.5%	—	+ 4,316
環境資源開発部門	3,158	18.6%	<b>2,953</b>	18.0%	93.5%	△ 204
その他	△ 262	—	—	—	—	+ 262
<b>配賦不能</b>	△ 3,477	—	<b>△ 3,043</b>	—	—	+ 433

# 2023年3月期 事業領域別見通し【住環境領域】

次世代へ快適な環境を

# SANIX

(単位：百万円)

	2022/3期 通期		2023/3期 通期			
	実績	売上比	計画	売上比	前期比	前期差異
<b>売上高</b>	14,908		<b>16,300</b>		109.3%	+ 1,391
H S 部門	12,421	83.3%	<b>12,015</b>	73.7%	96.7%	△ 405
E S 部門	2,487	16.7%	<b>2,450</b>	15.0%	98.5%	△ 36
S E 部門	—	—	<b>1,834</b>	11.3%	—	+ 1,834
<b>売上原価</b>	5,913	39.7%	<b>7,188</b>	44.1%	121.6%	+ 1,274
うち、労務費	1,933	13.0%	<b>2,410</b>	14.8%	124.7%	+ 476
<b>売上総利益</b>	8,995	60.3%	<b>9,112</b>	55.9%	101.3%	+ 117
<b>販売費・一般管理費</b>	6,385	42.8%	<b>7,513</b>	46.1%	117.7%	+ 1,127
うち、人件費	3,931	26.4%	<b>4,632</b>	28.4%	117.8%	+ 700
<b>営業利益</b>	2,609	17.5%	<b>1,598</b>	9.8%	61.3%	△ 1,010

# 2023年3月期 セグメント別見通し【HS事業部門】

(単位：百万円)

	2022/3期 通期		2023/3期 通期			
	実績	売上比	計画	売上比	前期比	前期差異
<b>売上高</b>	12,421		<b>12,015</b>		96.7%	△ 405
白蟻防除施工	3,641	29.3%	<b>3,833</b>	31.9%	105.3%	+ 191
床下換気・天井裏換気システム	3,141	25.3%	<b>2,993</b>	24.9%	95.3%	△ 147
基礎補修・家屋補強工事	2,054	16.5%	<b>1,876</b>	15.6%	91.3%	△ 177
その他	3,584	28.9%	<b>3,311</b>	27.6%	92.4%	△ 272
<b>売上原価</b>	4,754	38.3%	<b>4,753</b>	39.6%	100.0%	△ 1
うち、労務費	1,662	13.4%	<b>1,865</b>	15.5%	112.3%	+ 203
<b>売上総利益</b>	7,667	61.7%	<b>7,262</b>	60.4%	94.7%	△ 404
<b>販売費・一般管理費</b>	5,284	42.5%	<b>5,650</b>	47.0%	106.9%	+ 365
うち、人件費	3,292	26.5%	<b>3,558</b>	29.6%	108.1%	+ 265
<b>営業利益</b>	2,382	19.2%	<b>1,612</b>	13.4%	67.7%	△ 770

# 2023年3月期 セグメント別見通し【ES事業部門】

(単位：百万円)

	2022/3期 通期		2023/3期 通期			
	実績	売上比	計画	売上比	前期比	前期差異
<b>売上高</b>	2,487		<b>2,450</b>		98.5%	△ 36
防錆機器取付施工	1,221	49.1%	<b>1,030</b>	42.1%	84.4%	△ 190
その他	1,266	50.9%	<b>1,419</b>	57.9%	112.1%	+ 153
<b>売上原価</b>	1,159	46.6%	<b>1,170</b>	47.8%	101.0%	+ 11
うち、労務費	271	10.9%	<b>281</b>	11.5%	103.7%	+ 10
<b>売上総利益</b>	1,328	53.4%	<b>1,280</b>	52.2%	96.4%	△ 48
<b>販売費・一般管理費</b>	1,101	44.3%	<b>1,193</b>	48.7%	108.4%	+ 92
うち、人件費	639	25.7%	<b>702</b>	28.7%	110.0%	+ 63
<b>営業利益</b>	227	9.1%	<b>86</b>	3.5%	38.2%	△ 140



# 2023年3月期 セグメント別見通し【SE事業部門】

(単位：百万円)

	2022/3期 通期		2023/3期 通期			
	実績	売上比	計画	売上比	前期比	前期差異
売上高	—		1,834		—	—
売上原価	—	—	1,264	68.9%	—	—
うち、材料費等	—	—	795	43.4%	—	—
うち、労務費	—	—	263	14.3%	—	—
売上総利益	—	—	569	31.1%	—	—
販売費・一般管理費	—	—	669	36.5%	—	—
うち、人件費	—	—	371	20.2%	—	—
営業利益	—	—	△ 100	—	—	—

※2023年3月期は、事業部門の組織改編により、セグメント区分を変更しております。

SE部門については、実務上、前年同期の数値を組み替えることが困難なため前期比較を記載しておりません。

# 2023年3月期 事業領域別見通し【エネルギー領域】

(単位：百万円)

	2022/3期 通期		2023/3期 通期			
	実績	売上比	計画	売上比	前期比	前期差異
<b>売上高</b>	18,617		<b>13,878</b>		74.5%	△ 4,738
P V 部門	8,780	47.2%	<b>8,042</b>	57.9%	91.6%	△ 738
新電力部門	9,836	52.8%	<b>5,836</b>	42.1%	59.3%	△ 4,000
<b>売上原価</b>	20,547	110.4%	<b>11,790</b>	85.0%	57.4%	△ 8,756
うち、労務費	870	4.7%	<b>736</b>	5.3%	84.6%	△ 133
<b>売上総利益</b>	△ 1,930	—	<b>2,088</b>	15.0%	—	+ 4,018
<b>販売費・一般管理費</b>	2,716	14.6%	<b>2,069</b>	14.9%	76.2%	△ 647
うち、人件費	1,310	7.0%	<b>1,036</b>	7.5%	79.1%	△ 274
<b>営業利益</b>	△ 4,646	—	<b>18</b>	0.1%	—	+ 4,665

# 2023年3月期 セグメント別見通し【PV事業部門】

(単位：百万円)

	2022/3期 通期		2023/3期 通期			
	実績	売上比	計画	売上比	前期比	前期差異
<b>売上高</b>	8,780		<b>8,042</b>		91.6%	△ 738
施工売上	8,447	96.2%	<b>7,827</b>	97.3%	92.7%	△ 620
卸販売	261	3.0%	<b>127</b>	1.6%	49.0%	△ 133
その他	71	0.8%	<b>87</b>	1.1%	121.7%	+ 15
<b>売上原価</b>	6,838	77.9%	<b>6,294</b>	78.3%	92.0%	△ 544
うち、材料費等	4,157	47.3%	<b>3,823</b>	47.5%	92.0%	△ 333
うち、労務費	870	9.9%	<b>736</b>	9.2%	84.6%	△ 133
<b>売上総利益</b>	1,941	22.1%	<b>1,748</b>	21.7%	90.0%	△ 193
<b>販売費・一般管理費</b>	2,415	27.5%	<b>1,872</b>	23.3%	77.5%	△ 543
うち、人件費	1,158	13.2%	<b>928</b>	11.5%	80.2%	△ 229
<b>営業利益</b>	△ 473	—	<b>△ 124</b>	—	—	+ 349

※2023年3月期は、事業部門の組織改編により、セグメント区分を変更しております。  
PV部門については、前年同期の「(旧)SE部門」の数値と比較しております。

# 2023年3月期 セグメント別見通し【新電力事業部門】

次世代へ快適な環境を

**SANIX**

(単位：百万円)

	2022/3期 通期		2023/3期 通期			
	実績	売上比	計画	売上比	前期比	前期差異
売上高	9,836		<b>5,836</b>		59.3%	△ 4,000
売上原価	13,708	139.4%	<b>5,496</b>	94.2%	40.1%	△ 8,212
うち、材料費	13,708	139.4%	<b>5,496</b>	94.2%	40.1%	△ 8,212
売上総利益	△ 3,872	—	<b>339</b>	5.8%	—	+ 4,212
販売費・一般管理費	301	3.1%	<b>196</b>	3.4%	65.4%	△ 104
うち、人件費	152	1.5%	<b>107</b>	1.8%	70.8%	△ 44
営業利益	△ 4,173	—	<b>143</b>	2.5%	—	+ 4,316

# 2023年3月期 事業領域別見通し【資源循環領域】

次世代へ快適な環境を

**SANIX**

(単位：百万円)

	2022/3期 通期		2023/3期 通期			
	実績	売上比	計画	売上比	前期比	前期差異
売上高	17,008		<b>16,389</b>		96.4%	△ 618
売上原価	12,050	70.8%	<b>11,554</b>	70.5%	95.9%	△ 496
うち、材料費	2,320	13.6%	<b>2,187</b>	13.3%	94.3%	△ 132
売上総利益	4,957	29.2%	<b>4,835</b>	29.5%	97.5%	△ 122
販売費・一般管理費	1,799	10.6%	<b>1,881</b>	11.5%	104.5%	+ 81
うち、人件費	1,124	6.6%	<b>1,158</b>	7.1%	103.1%	+ 34
営業利益	3,158	18.6%	<b>2,953</b>	18.0%	93.5%	△ 204

# 2023年3月期 セグメント別見通し【環境資源開発事業部門】

次世代へ快適な環境を

**SANIX**

(単位：百万円)

	2022/3期 通期		2023/3期 通期			
	実績	売上比	計画	売上比	前期比	前期差異
<b>売上高</b>	17,008		<b>16,389</b>		96.4%	△ 618
プラスチック燃料	10,574	62.2%	<b>9,979</b>	60.9%	94.4%	△ 595
発電所売上	2,986	17.6%	<b>3,040</b>	18.6%	101.8%	+ 53
廃液処理	2,073	12.2%	<b>2,086</b>	12.7%	100.6%	+ 12
埋立処理	911	5.4%	<b>841</b>	5.1%	92.4%	△ 69
その他	461	2.7%	<b>441</b>	2.7%	95.5%	△ 20
<b>売上原価</b>	12,050	70.8%	<b>11,554</b>	70.5%	95.9%	△ 496
うち、労務費	1,913	11.3%	<b>1,958</b>	12.0%	102.3%	+ 44
<b>売上総利益</b>	4,957	29.2%	<b>4,835</b>	29.5%	97.5%	△ 122
<b>販売費・一般管理費</b>	1,799	10.6%	<b>1,881</b>	11.5%	104.5%	+ 81
うち、人件費	1,124	6.6%	<b>1,158</b>	7.1%	103.1%	+ 34
<b>営業利益</b>	3,158	18.6%	<b>2,953</b>	18.0%	93.5%	△ 204

		2019/3期 実績	2020/3期 実績	2021/3期 実績	2022/3期 実績	2023/3期 計画
自己資本当期純利益率	ROE	5.85%	36.31%	27.87%	—	17.90%
総資産経常利益率	ROA	3.88%	8.16%	6.39%	—	3.70%
自己資本比率		13.42%	18.55%	24.50%	13.47%	17.20%
投下資本利益率	ROIC	2.31%	10.77%	11.19%	—	6.90%

(単位：百万円)

	2020/3期 実績	2021/3期 実績	2022/3期 実績	2023/3期 計画
設備投資	2,742	3,083	2,776	1,800~2,000
減価償却費	914	1,097	1,509	1,800

補足資料  
(2023年3月期  
第3四半期 セグメント別実績)



# 2023年3月期 第3四半期 セグメント別実績

(単位：百万円)

	2022/3期	2023/3期					
	3Q実績	3Q実績	差異	前年同期比	計画	差異	計画比
<b>売 上 高</b>	36,453	<b>34,345</b>	△ 2,107	94.2%	34,651	△ 305	99.1%
H S 部 門	9,471	<b>8,591</b>	△ 879	90.7%	8,927	△ 335	96.2%
E S 部 門	1,902	<b>1,832</b>	△ 69	96.3%	1,795	+ 36	102.0%
S E 部 門	—	<b>1,283</b>	+ 1,283	—	1,312	△ 29	97.8%
P V 部 門	6,223	<b>5,696</b>	△ 526	91.5%	5,743	△ 47	99.2%
新 電 力 部 門	5,776	<b>4,322</b>	△ 1,453	74.8%	4,330	△ 7	99.8%
環 境 資 源 開 発 部 門	12,770	<b>12,619</b>	△ 151	98.8%	12,542	+ 77	100.6%
そ の 他 / セ グ メ ン ト 間 の 内 部 売 上 高 調 整 額	309	—	△ 309	—	—	—	—
<b>営 業 利 益</b>	181	<b>1,111</b>	+ 930	614.0%	1,075	+ 36	103.4%
H S 部 門	1,908	<b>956</b>	△ 952	50.1%	1,177	△ 220	81.2%
E S 部 門	178	<b>47</b>	△ 130	26.8%	35	+ 12	134.5%
S E 部 門	—	<b>△ 90</b>	△ 90	—	△ 105	+ 14	—
P V 部 門	△ 225	<b>△ 121</b>	+ 103	—	△ 127	+ 5	—
新 電 力 部 門	△ 1,211	<b>238</b>	+ 1,449	—	164	+ 73	144.7%
環 境 資 源 開 発 部 門	2,342	<b>2,343</b>	+ 0	100.0%	2,233	+ 109	104.9%
そ の 他	△ 220	—	+ 220	—	—	—	—
配 賦 不 能	△ 2,590	<b>△ 2,260</b>	+ 329	—	△ 2,302	+ 41	—

(単位：百万円)

	2022/3期		2023/3期				
	3Q実績	売上比	3Q実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
<b>売上高</b>	11,373		<b>11,707</b>		102.9%	12,035	
H S 部門	9,471	83.3%	<b>8,591</b>	73.4%	90.7%	8,927	74.2%
E S 部門	1,902	16.7%	<b>1,832</b>	15.6%	96.3%	1,795	14.9%
S E 部門	—	—	<b>1,283</b>	11.0%	—	1,312	10.9%
<b>売上原価</b>	4,433	39.0%	<b>5,166</b>	44.1%	116.5%	5,261	43.7%
うち、労務費	1,439	12.7%	<b>1,758</b>	15.0%	122.1%	1,756	14.6%
<b>売上総利益</b>	6,939	61.0%	<b>6,541</b>	55.9%	94.3%	6,774	56.3%
<b>販売費・一般管理費</b>	4,853	42.7%	<b>5,627</b>	48.1%	116.0%	5,666	47.1%
うち、人件費	2,961	26.0%	<b>3,436</b>	29.4%	116.0%	3,471	28.8%
<b>営業利益</b>	2,086	18.3%	<b>913</b>	7.8%	43.8%	1,107	9.2%

# 2023年3月期 第3四半期 セグメント別実績【HS事業部門】

(単位：百万円)

	2022/3期		2023/3期				
	3Q実績	売上比	3Q実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
<b>売上高</b>	9,471		<b>8,591</b>		90.7%	8,927	
白蟻防除施工	2,804	29.6%	<b>2,991</b>	34.8%	106.7%	2,911	32.6%
床下・天井裏換気システム	2,422	25.6%	<b>2,136</b>	24.9%	88.2%	2,234	25.0%
基礎補修・家屋補強工事	1,549	16.4%	<b>1,211</b>	14.1%	78.2%	1,343	15.1%
その他	2,694	28.5%	<b>2,251</b>	26.2%	83.5%	2,437	27.3%
<b>売上原価</b>	3,542	37.4%	<b>3,440</b>	40.0%	97.1%	3,502	39.2%
うち、労務費	1,232	13.0%	<b>1,348</b>	15.7%	109.4%	1,342	15.0%
<b>売上総利益</b>	5,929	62.6%	<b>5,151</b>	60.0%	86.9%	5,425	60.8%
<b>販売費・一般管理費</b>	4,020	42.5%	<b>4,195</b>	48.8%	104.3%	4,248	47.6%
うち、人件費	2,479	26.2%	<b>2,620</b>	30.5%	105.7%	2,655	29.7%
<b>営業利益</b>	1,908	20.1%	<b>956</b>	11.1%	50.1%	1,177	13.2%

(単位：百万円)

	2022/3期		2023/3期				
	3Q実績	売上比	3Q実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
<b>売上高</b>	1,902		<b>1,832</b>		96.3%	1,795	
防錆機器取付施工	942	49.5%	<b>790</b>	43.2%	83.9%	738	41.1%
その他	959	50.5%	<b>1,041</b>	56.8%	108.5%	1,056	58.9%
<b>売上原価</b>	891	46.9%	<b>877</b>	47.9%	98.5%	867	48.3%
うち、労務費	206	10.9%	<b>210</b>	11.5%	101.7%	211	11.8%
<b>売上総利益</b>	1,010	53.1%	<b>954</b>	52.1%	94.4%	928	51.7%
<b>販売費・一般管理費</b>	832	43.8%	<b>906</b>	49.5%	108.9%	892	49.7%
うち、人件費	482	25.3%	<b>526</b>	28.8%	109.3%	525	29.3%
<b>営業利益</b>	178	9.4%	<b>47</b>	2.6%	26.8%	35	2.0%

# 2023年3月期 第3四半期 セグメント別実績【SE事業部門】

(単位：百万円)

	2022/3期		2023/3期				
	3Q実績	売上比	3Q実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
売上高	—		1,283		—	1,312	
売上原価	—	—	848	66.1%	—	891	68.0%
うち、材料費等	—	—	486	37.9%	—	524	40.0%
うち、労務費	—	—	199	15.6%	—	202	15.4%
売上総利益	—	—	435	33.9%	—	420	32.0%
販売費・一般管理費	—	—	525	41.0%	—	526	40.1%
うち、人件費	—	—	289	22.5%	—	289	22.1%
営業利益	—	—	△ 90	—	—	△ 105	—

※2023年3月期は、事業部門の組織改編により、セグメント区分を変更しております。

SE部門については、実務上、前年同期の数値を組み替えることが困難なため前期比較を記載しておりません。

# 2023年3月期 第3四半期 事業領域別実績【エネルギー領域】

(単位：百万円)

	2022/3期		2023/3期				
	3Q実績	売上比	3Q実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
<b>売上高</b>	11,999		<b>10,019</b>		83.5%	10,073	
P V 部門	6,223	51.9%	<b>5,696</b>	56.9%	91.5%	5,743	57.0%
新電力部門	5,776	48.1%	<b>4,322</b>	43.1%	74.8%	4,330	43.0%
<b>売上原価</b>	11,381	94.9%	<b>8,356</b>	83.4%	73.4%	8,496	84.3%
うち、労務費	641	5.3%	<b>549</b>	5.5%	85.6%	551	5.5%
<b>売上総利益</b>	617	5.1%	<b>1,663</b>	16.6%	269.3%	1,577	15.7%
<b>販売費・一般管理費</b>	2,054	17.1%	<b>1,546</b>	15.4%	75.3%	1,540	15.3%
うち、人件費	993	8.3%	<b>763</b>	7.6%	76.8%	765	7.6%
<b>営業利益</b>	△ 1,437	—	<b>116</b>	1.2%	—	37	0.4%

# 2023年3月期 第3四半期 セグメント別実績【PV事業部門】

(単位：百万円)

	2022/3期		2023/3期				
	3Q実績	売上比	3Q実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
<b>売上高</b>	6,223		<b>5,696</b>		91.5%	5,743	
<b>施工売上</b>	6,059	97.4%	<b>5,538</b>	97.2%	91.4%	5,577	97.1%
<b>卸販売</b>	109	1.8%	<b>88</b>	1.6%	81.4%	97	1.7%
<b>その他</b>	54	0.9%	<b>69</b>	1.2%	126.7%	67	1.2%
<b>売上原価</b>	4,630	74.4%	<b>4,412</b>	77.5%	95.3%	4,479	78.0%
うち、材料費等	2,667	42.9%	<b>2,650</b>	46.5%	99.4%	2,678	46.6%
うち、労務費	641	10.3%	<b>549</b>	9.6%	85.6%	551	9.6%
<b>売上総利益</b>	1,592	25.6%	<b>1,284</b>	22.5%	80.6%	1,263	22.0%
<b>販売費・一般管理費</b>	1,818	29.2%	<b>1,406</b>	24.7%	77.3%	1,391	24.2%
うち、人件費	876	14.1%	<b>687</b>	12.1%	78.4%	684	11.9%
<b>営業利益</b>	△ 225	—	<b>△ 121</b>	—	—	△ 127	—

※2023年3月期は、事業部門の組織改編により、セグメント区分を変更しております。  
PV部門については、前年同期の「(旧)SE部門」の数値と比較しております。

# 2023年3月期 第3四半期 セグメント別実績【新電力事業部門】

(単位：百万円)

	2022/3期		2023/3期				
	3Q実績	売上比	3Q実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
売上高	5,776		<b>4,322</b>		74.8%	4,330	
売上原価	6,751	116.9%	<b>3,943</b>	91.2%	58.4%	4,016	92.8%
うち、材料費	6,751	116.9%	<b>3,943</b>	91.2%	58.4%	4,016	92.8%
売上総利益	△ 975	—	<b>378</b>	8.8%	—	313	7.2%
販売費・一般管理費	236	4.1%	<b>140</b>	3.3%	59.6%	148	3.4%
うち、人件費	117	2.0%	<b>76</b>	1.8%	65.2%	81	1.9%
営業利益	△ 1,211	—	<b>238</b>	5.5%	—	164	3.8%



(単位：百万円)

	2022/3期		2023/3期				
	3Q実績	売上比	3Q実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
売上高	12,770		<b>12,619</b>		98.8%	12,542	
売上原価	9,093	71.2%	<b>8,885</b>	70.4%	97.7%	8,915	71.1%
うち、労務費	1,411	11.1%	<b>1,403</b>	11.1%	99.4%	1,432	11.4%
売上総利益	3,677	28.8%	<b>3,733</b>	29.6%	101.5%	3,626	28.9%
販売費・一般管理費	1,334	10.5%	<b>1,390</b>	11.0%	104.2%	1,392	11.1%
うち、人件費	827	6.5%	<b>835</b>	6.6%	100.9%	848	6.8%
営業利益	2,342	18.3%	<b>2,343</b>	18.6%	100.0%	2,233	17.8%

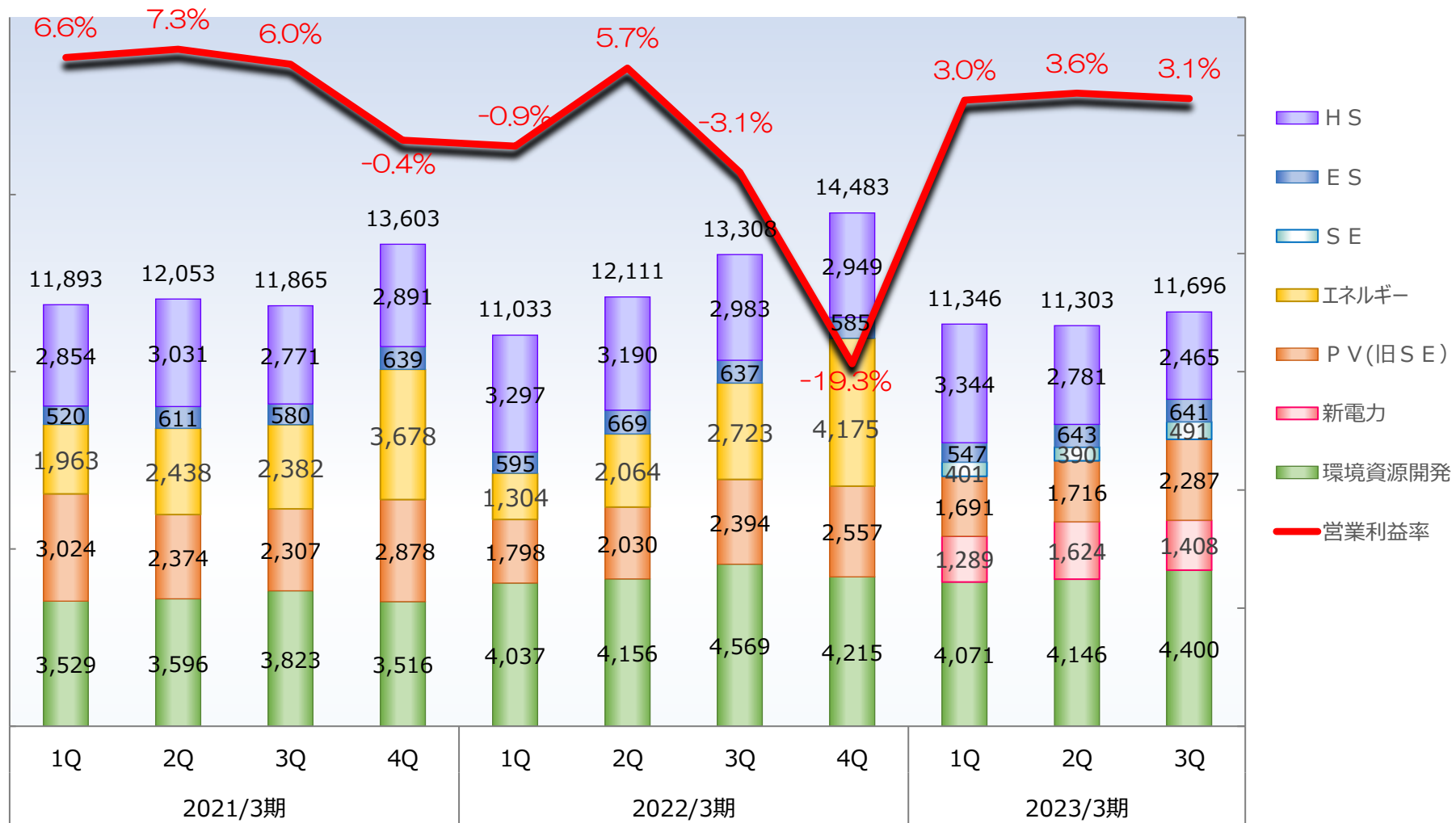
# 2023年3月期 第3四半期 セグメント別実績【環境資源開発事業部門】

(単位：百万円)

	2022/3期		2023/3期				
	3Q実績	売上比	3Q実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
<b>売 上 高</b>	12,770		<b>12,619</b>		98.8%	12,542	
プラスチック燃料	8,071	63.2%	<b>7,547</b>	59.8%	93.5%	7,633	60.9%
発電所売上	2,123	16.6%	<b>2,344</b>	18.6%	110.4%	2,317	18.5%
廃液処理	1,529	12.0%	<b>1,564</b>	12.4%	102.3%	1,572	12.5%
埋立処理	682	5.3%	<b>799</b>	6.3%	117.2%	672	5.4%
その他	363	2.8%	<b>362</b>	2.9%	99.7%	345	2.8%
<b>売 上 原 価</b>	9,093	71.2%	<b>8,885</b>	70.4%	97.7%	8,915	71.1%
うち、労務費	1,411	11.1%	<b>1,403</b>	11.1%	99.4%	1,432	11.4%
<b>売 上 総 利 益</b>	3,677	28.8%	<b>3,733</b>	29.6%	101.5%	3,626	28.9%
<b>販売費・一般管理費</b>	1,334	10.5%	<b>1,390</b>	11.0%	104.2%	1,392	11.1%
うち、人件費	827	6.5%	<b>835</b>	6.6%	100.9%	848	6.8%
<b>営 業 利 益</b>	2,342	18.3%	<b>2,343</b>	18.6%	100.0%	2,233	17.8%

# 【参考】セグメント別売上高の推移

(単位：百万円)



・「セグメント間の内部売上高調整額」は環境資源開発及びエネルギーの売上高から差し引いております。

・2023年3月期は、事業部門の組織改編により、セグメント区分を変更しております。

# 補足資料（事業構造）

## 企業理念 「次世代へ快適な環境を」

### エネルギー領域

- PV
- 新電力

『環境負荷の低い

エネルギーが当たり前の社会』

再エネの主力電源化、分散電源、自家消費、  
マイクログリッド、V P P

『快適な住環境を次世代に

つなぐのが当たり前の社会』

長期優良住宅、住宅のストック化、既存住宅  
流通市場形成

### 住環境領域

- HS
- ES
- SE

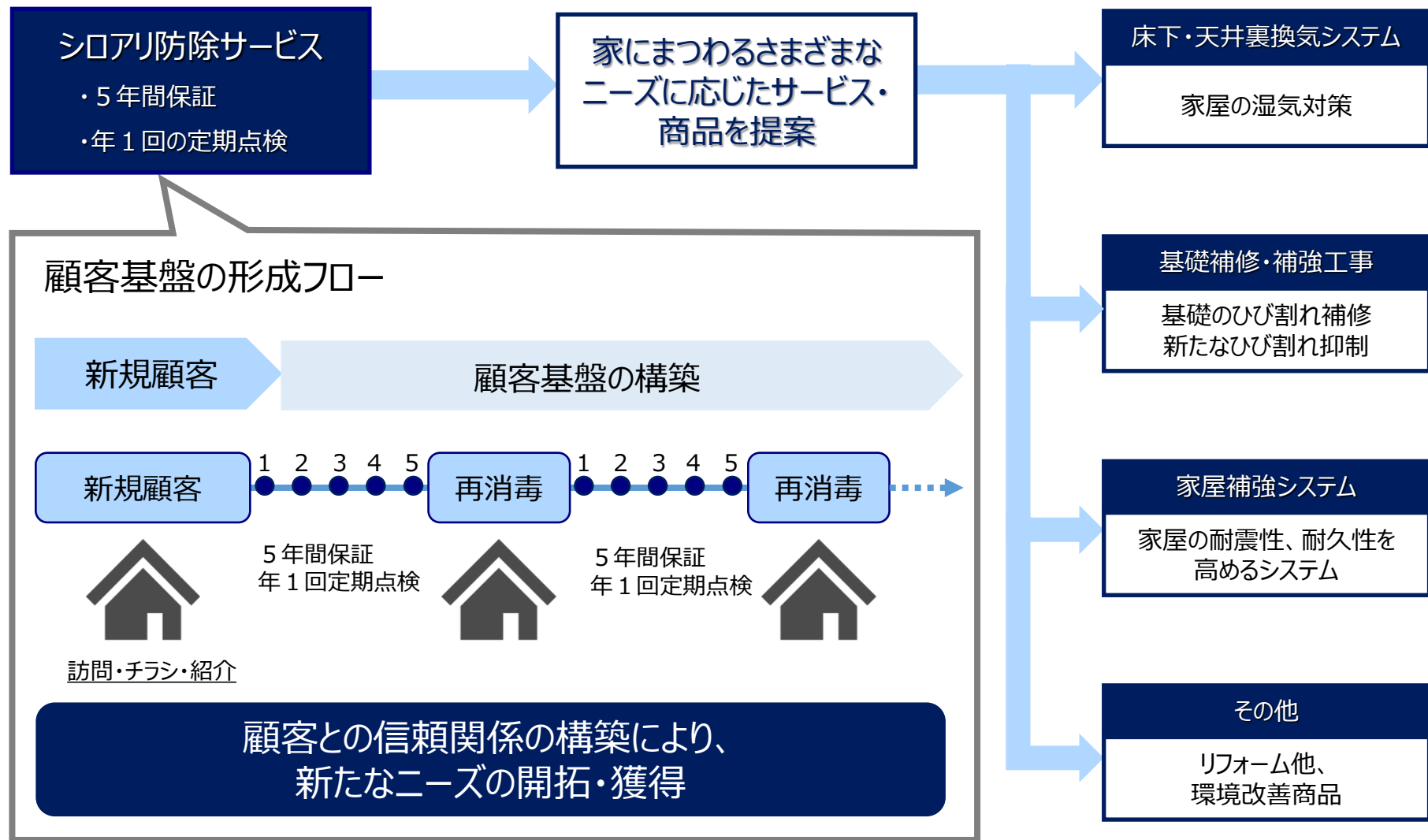
### 資源循環領域

- 環境資源

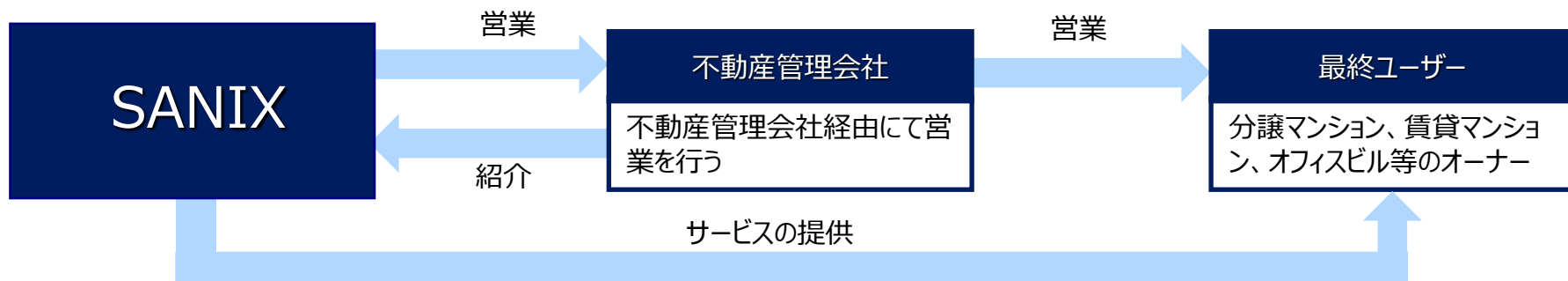
『捨てないのが当たり前の社会』

環境基本計画、循環型社会形成推進、  
プラスチック資源循環戦略

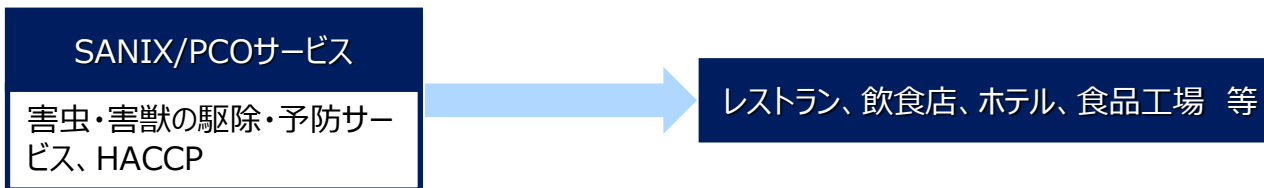
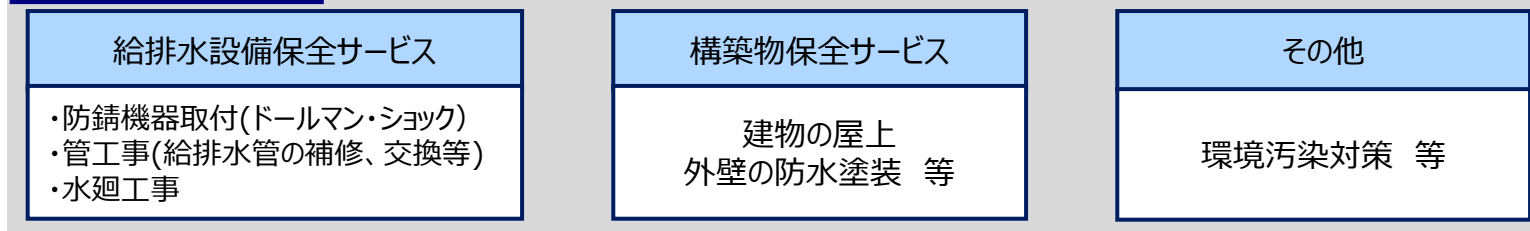
## HS部門 事業構造



## E S 部門 事業構造

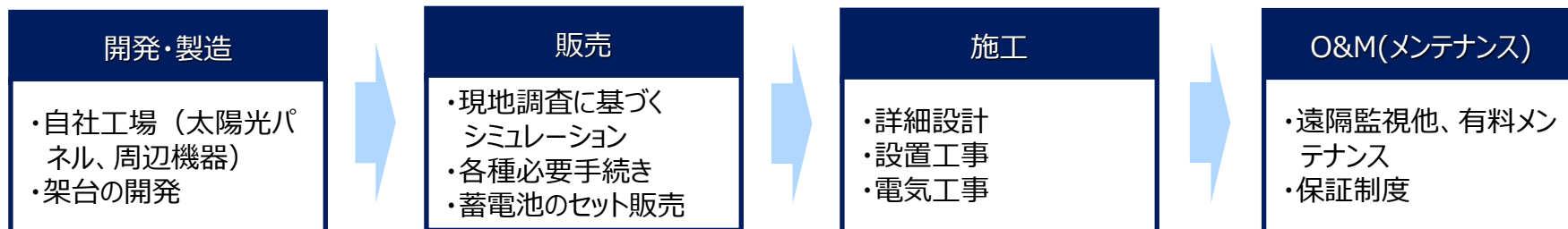


### 主なサービス・商品



## SE/PV部門 事業構造

製造・販売・施工・メンテナンスまでトータルサービスを提供



### 住宅向け（10kW未満） 主にSE事業部門

- 新築住宅：ZEH普及促進
- 既築住宅：省エネ改修支援等による導入加速を背景に、住宅・小規模建築物向け太陽光発電市場は堅調な推移が見込まれる

➡ 住宅太陽光発電市場専門の組織を新たに編成し、積極的な開拓を狙う

### 法人・自治体向け（10kW以上） 主にPV事業部門

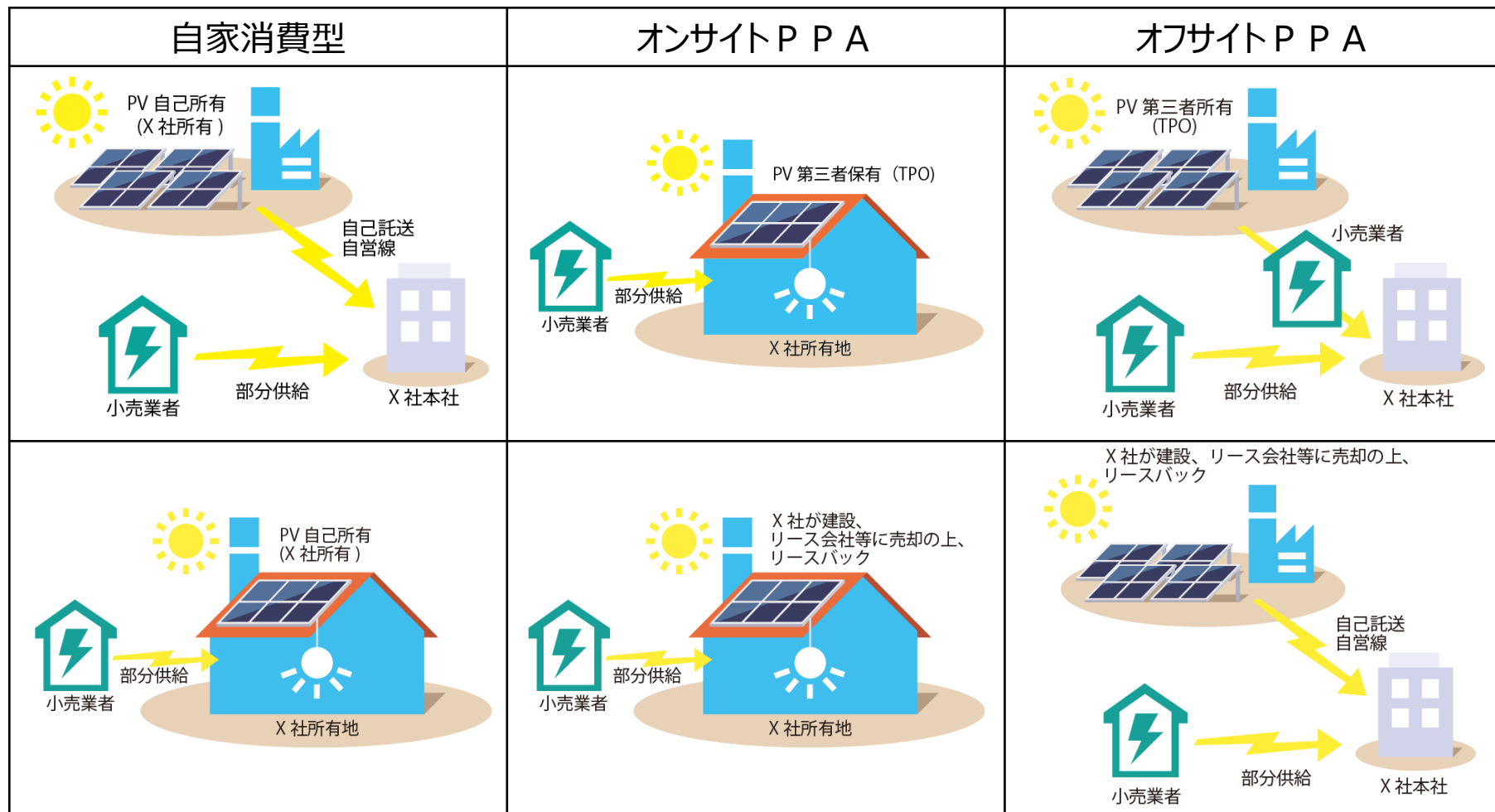
企業や地方自治体を中心に、脱炭素への取り組みが本格化。太陽光発電設備の導入・保有方法や、発電電力の供給方法等が多様化・高度化することでFIT制度下とは異なる市場が大きく成長することが見込まれる

➡ 各種サービスを展開するための協業体制が整い、今期より営業を本格化  
更なる他社協業を進め、提供サービスの拡充を図る



# 太陽光設備の導入・保有、および電力の供給方法の 多様化・高度化

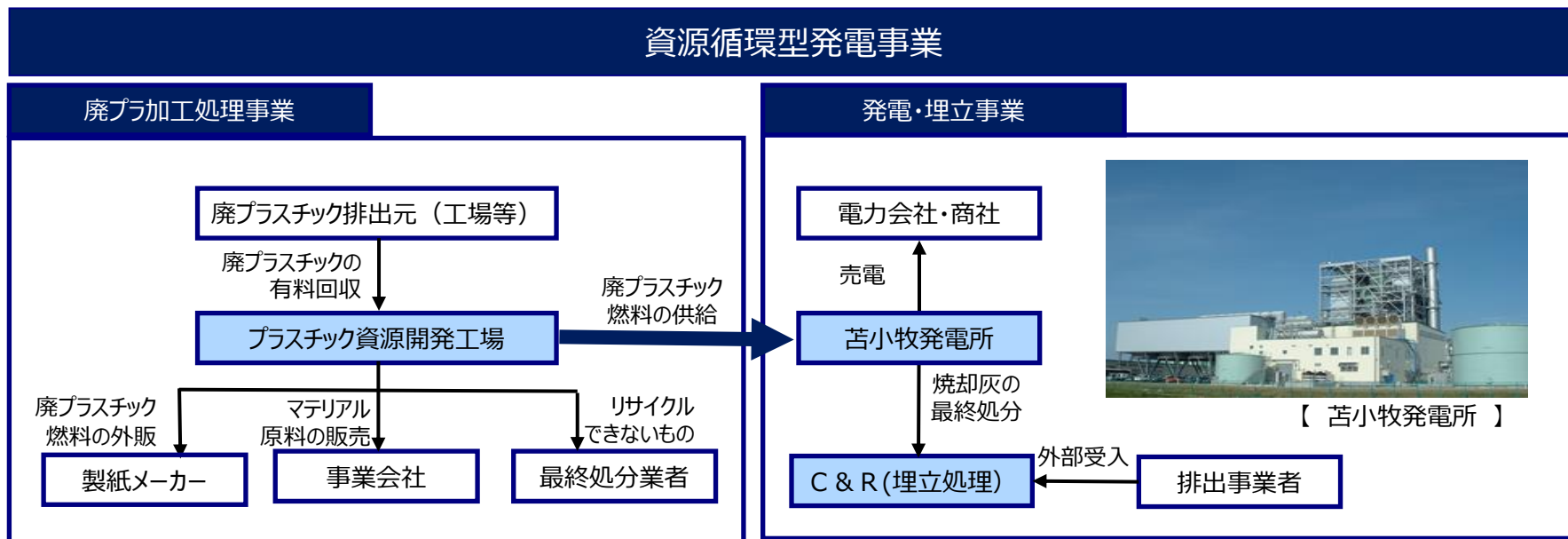
電力料金の上昇と、太陽光発電システムの低コスト化やPPAサービスの浸透等を背景に、  
経済合理性・脱炭素対応・レジリエンス強化、それぞれのニーズにより太陽光導入が本格化



太陽光発電協会ホームページ「発電事業普及へ向けて」より、当社で加工

## 環境資源開発部門 事業構造

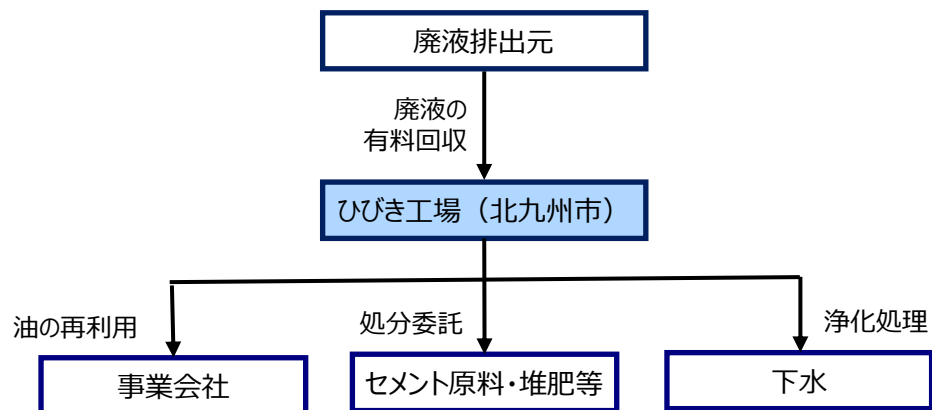
### 資源循環型発電事業



【 苫小牧発電所 】

- 全国15箇所のプラスチック資源開発工場では、メーカーなどの製造工場等から排出される廃プラスチックを、処理手数料とともに回収
- 回収した廃プラスチックは、廃プラスチック燃料に加工処理して、苫小牧発電所に供給
- 苫小牧発電所において、廃プラスチック燃料を利用して発電し、電力会社・商社に売電
- 発電所への供給以外にも、製紙メーカーへの廃プラスチック燃料の外販やマテリアル原料としての販売を実施
- 苫小牧発電所における焼却灰は、C&R(苫小牧市:埋立処理場)で最終処分を実施

## 廃液処理事業



【 ひびき工場 】

※汚泥・廃液を処理する施設としては、国内最大規模

- 食品・飲料工場から排出される廃液を処理手数料とともに回収
- 回収した廃液は、ひびき工場（北九州市）において、微生物処理等によって浄化
- 浄化処理後の処理水は、再利用水として再利用するか、放流基準に達していることを確認のうえ放流
- 処理工程で発生した脱水汚泥は、セメント原料や堆肥として再利用・燃料化